

# まこと通信

福岡県議会議員

2021  
11  
Vol.91一般  
質問

## 児童虐待の現状と里親委託率

### 質問 児童虐待件数の現状と基本的な考え方

**知事 答弁** 県内の児童相談所が昨年度、対応した児童虐待の件数は、10,272件にのぼり、過去最高。子どもの虐待は絶対に許すことができない。子どもの生命と権利を断固として守っていかなければならぬ。子どもを虐待から守ることを明確にした条例を、来年2月議会の提案に向けて準備している。あわせて、児童相談所において児童福祉司の計画的な増員を図るなど体制強化に取り組む。

### 質問 里親委託率の現状と認識について

**知事 答弁** 2020年度の本県における里親等への委託率は、3歳未満13.9%、3歳以上就学前24.5%、就学期以降24.7%となっている。温かな愛情と正しい理解を持った家庭の中で養育を提供する里親制度は、子どもの健全な育成を図る上で、とても大事な取り組みであると考えている。

### 質問 里親制度新しい取り組みについて

**知事 答弁** 昨年度から、「福岡児童相談所」と「久留米児童相談所」において、専門性と経験を有し継続した里親支援を行っているNPO法人等に委託することにより、フォースタッキング機関を整備し、里親の募集から研修、委託後のフォローまで一貫した里親支援に取り組んでいる。

今年度はこれを田川児童相談所などに拡げ実施し、その結果、今年9月末現在の里親登録数は330人と、一年半で62人増加した。今後は、この取り組みを県内全ての児童相談所に拡大していきたい。

フォースタッキング機関…里親と子どもについての適切なアセスメント、支援のコーディネートといったソーシャルワーク、チーム養育を実現するための機関

佐々木は  
こう思う

### 早急に里親委託率を高める取り組み強化を！

家庭は、子どもの成長や発達にとって最も自然な環境であることから、社会的養護が必要な子どもは、従来の児童養護施設での養護から、里親等家庭での養護を推進しています。

そのため県は、2019年に「福岡県社会的養育推進計画」を定め、2020年度から5カ年間、そして10カ年で達成すべき数値目標を定めています。しかし現状を見ると、特に福岡市は里親等委託率が全国でもトップクラスと高く、全国からもその取り組みが注目されています。同じ福岡県内であるにも関わらず、これほどの差があることは、本来望ましいことではなく、県も福岡市の取り組みを参考にしながら、積極的に取り組みを行うべきです。

### 里親等委託率 2019年度

	福岡県	福岡市
3歳未満	13.9%	54%
3歳以上就学前	24.5%	64%
就学期以降	24.7%	45%

### 2029年度までの目標値

	2024年	2029年
3歳未満	52.4%	60.7%
3歳以上就学前	46.9%	60.4%
就学期以降	30.2%	41.9%

### 目標値と内容 2024年度

目標内容	目標
県児童相談所が関与する特別養子縁組成立件数	8件/年
子育て世代包括支援センターの設置数	60市町村(2020年度末)
子ども家庭総合支援拠点の設置数	60市町村(2022年度末)
要保護児童等の里親等への委託率(政令市を除く)	3歳未満52% 就学前47% 就学期以降30%
ファミリーホーム(小規模住居型児童養育事業)の実施か所数(政令市を除く)	10カ所
地域小規模児童養護施設及び分園型小規模グループケアへ措置した子どもの割合(政令市を除く)	40%

### 第74回 弁護士による無料法律相談開催

担当弁護士：田川市役所前法律事務所 森竹 卓郎弁護士

開催日程 11月30日(火) 17:00～  
佐々木まこと事務所にて

1回30分程度・相談は1人1回まで

ご予約連絡先 0947-85-9015 ※ご希望の方は11月29日(月)までに事務所までご一報下さい

# 県パートナーシップ制度導入へ 会派代表質問で答弁を引き出す

9月定例会、私の所属する会派（民主県政クラブ県議団）の代表質問において、LGBTQ（※1）の方々のパートナーシップを尊重するための「県パートナーシップ宣誓制度」の導入について質問。知事は「制度の導入について検討していく」と表明しました。

服部知事は選挙公約でも「ジェンダー平等の福岡県づくり」を表明されています。我が会派は、6月定例会代表質問で、ジェンダー平等とLGBTQとの関係を質し、知事からは「LGBTQは含まれる」との答弁を引き出しました。

LGBTQの方々は、婚姻を法律上行うことができません。しかし、今回の制度を導入することで、二人のパートナーシップを尊重することにつながるとともに、パートナーシップ宣誓制度に応じて、例えば携帯電話会社の家族割や、銀行の住居に関するペアローンの締結など、様々な民間サービスの利用も可能になります。

この制度の導入により、性的マイノリティに関する社会的理解が進むとともに、パートナーシップが尊重される取り組みを、福岡県全体で進められるよう、私もしっかり支援していきたいと思っています。

※1

L=レズビアン（性自認が女性の同性愛者）G=ゲイ（性自認が男性の同性愛者）  
B=バイセクシャル（男性・女性の両方を愛することができる人）  
T=トランスジェンダー（主に身体的な性別と性自認が一致しない人）  
Q=クエスチョニング（自分の性別が分からず、意図的に決めていない人、決まっていない人、模索中である人）



## パートナーシップ宣誓制度導入自治体

都道府県 (1府4県)	●群馬県 ●茨城県 ●三重県 ●大阪府 ●佐賀県
市町村	●福岡市 ●北九州市 ●古賀市 他全国 122 自治体
合計	130 自治体 (2021年10月現在)

## LGBTQの方のDV被害者相談ホットライン

[電話番号] 080-2701-5461

[受付時間] 第2火曜／12時から16時  
第4火曜／17時から20時  
(祝日・年末年始を除く)



# 田川市・台湾 新北市平渓区と友好交流提携 友好提携とさらなる交流推進を進めます

田川市は、8月30日、台湾の新北市平渓区と「友好交流に関する意向書」を締結しました。今後、相互交流など様々な交流が行われることになっています。

田川地域と台湾との交流はこれまで数多く進められており、田川市石炭・歴史博物館と台湾・新平渓煤礦博物園との交流提携の推進や、台湾鉄路平渓線と平成筑豊鉄道の姉妹鉄道の締結も結ばれています。

10月に台湾へ異動となった台北駐福岡経済文化弁事処の陳忠正（チン チュウセイ）前処長も何度も田川市を訪れ、私も交流を深めました。

私は、今年の4月から国際化・多文化共生社会調査特別委員会の委員長も務めています。台湾はもとより、全ての国との国際交流を果たすために、頑張っていきます。



台北駐福岡経済文化弁事処の陳忠正（チン チュウセイ）前処長と

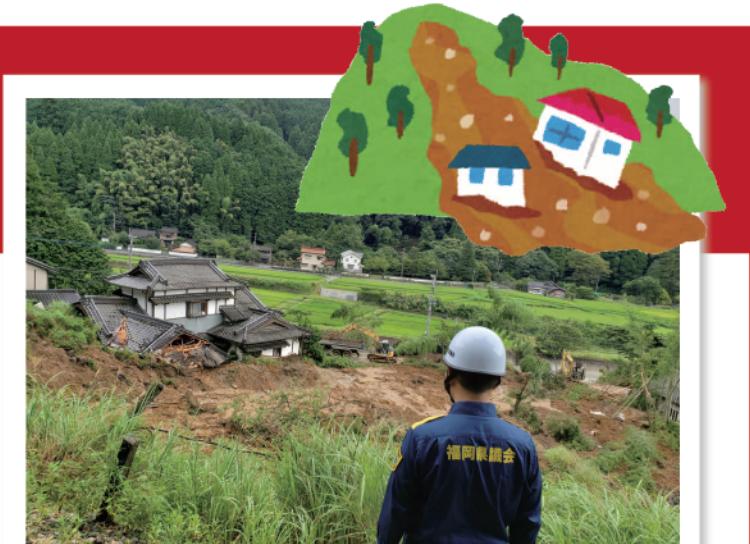
# 2021年8月 豪雨災害 5年連続大雨特別警報発令

8月11日、福岡県内で発生した大雨は、特別警報が発令される大雨で、田川地域にも大きな被害が発生しました。

特に添田町では、日田彦山線の法面崩落が発生し、人家を巻き込む被害をもたらしました。

福岡県では5年連続で大雨特別警報が発令された唯一の県であり、筑後地域では毎年のように農地が浸水している地域もあります。早急な復旧のため、県も最大限の支援を行っています。

また、地球温暖化とともになう気候変動は、福岡県に深刻な影響を与えています。脱炭素に向けた取り組みも強化していかなくてはなりません。



添田町で発生したがけ崩れ現場も視察しました

## 2021年8月11日からの大雨における被害状況（田川市・田川郡）

### 人的被害 計1件 ●添田町1名【重傷】

### 建物被害 計5件

[住家]  
●田川市2件【全壊】場所：千代町  
がけ崩れにより地盤流出、家屋の一部傾き  
●添田町1件【全壊】場所：落合  
住家の土砂の流れ込み

[非住家]  
●田川市2件【空き家】  
場所：千代町  
家屋周辺のがけ崩れにより地盤が  
流出し、家屋の一部崩落

### 道路被害 計8件

●田川市1件【損壊】場所：市道（大字奈良）  
歩道崩壊  
●添田町5件【損壊】場所：県道（英彦山香春線）  
道路損壊  
●川崎町1件【損壊】場所：林道（戸谷ヶ岳線）  
道路崩壊  
●大任町1件【損壊】場所：林道（大行事東白土地区）  
林道損壊

### 河川被害 計1件

●福智町1件【施設・設備損壊】場所：彦山川（伊方方城大橋下流左岸）護岸浸食

### 土砂災害 計11件

●田川市4件【がけ崩れ】場所：大字繩・大字伊加利・大字奈良・千代町  
法面崩壊  
●添田町3件【がけ崩れ】場所：津野・落合・英彦山  
がけ崩れ  
●川崎町2件【がけ崩れ】場所：黒木地区・安宅地区  
法面崩壊  
●福智町2件【がけ崩れ】場所：伊方・弁城  
法面崩壊（伊方）農地畦畔崩壊（弁城）

# 田川後藤寺駅前整備に向けて本格始動 県も最大限の支援に向けて頑張ります

田川市は、田川後藤寺駅前周辺の整備促進に向けた基本的な方針案を10月にまとめました。本計画では、駅前に路線バスのバス停を新たに設けることで、交通結節をより強化するとともに、駅前広場などを新設させ、賑わいを創出することなどを目的にしています。

また、駅前に続く道路は県道となっており、再整備が必要になる可能性も大いにあります。田川市役所と県当局との橋渡しはもちろん、地域の声も頂きながら、よりよい形にしていくため、早急に議論を進めていく必要があります。

田川市は田川後藤寺駅・田川伊田駅を中心に、2つの拠点が存在し、市の都市計画でも、その2つを中心としたまちづくりを提唱しています。田川伊田駅は、再整備が大きく進んでいる状況ですが、田川後藤寺駅は今からです。

今後、市でも最も大きな都市計画事業になるのは間違ひありません。市の計画に県がしっかり支援できるように、私もこれまで以上に取り組んでいきます。

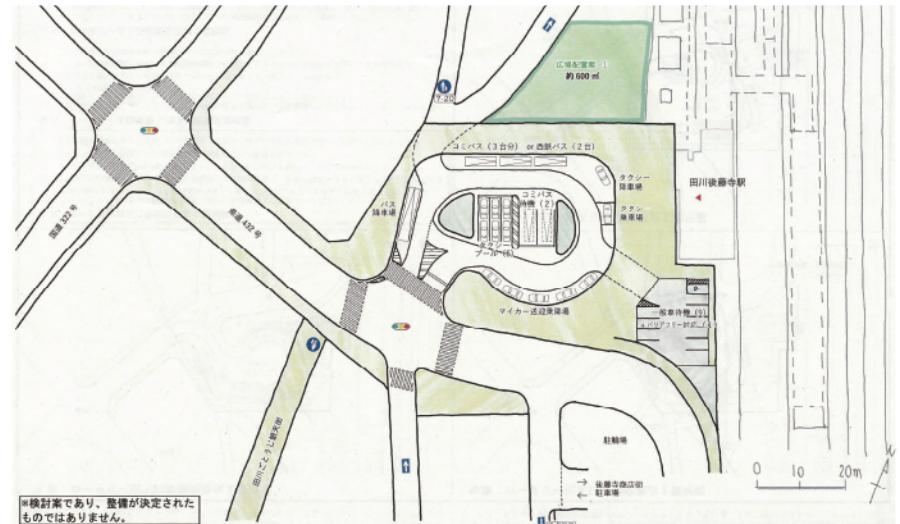
## 後藤寺駅前歩道橋撤去 引き続き道路改良推進を

かねてから地元区長や地域住民から要望のあっていた、後藤寺交差点歩道橋の撤去と歩道設置が、このほど完成しました。多くの関係者の努力の結果であり、皆さまのご協力あっての実現だと思っています。

田川後藤寺駅につながる国道322号線の交差点部分も、右折レーンがないために、朝夕のラッシュ時は、渋滞が慢性的に続いています。交差点改良についても、引き続き要望を重ねていきたいと思います。



歩道が設置された後藤寺交差点



田川後藤寺駅前計画案（あくまでも概要です）

## 田川直方バイパス延伸促進 整備促進に引き続き取り組みます

田川直方バイパスは、田川市内から大任町間の新規バイパス整備に向けた事業が現在進められています。県も用地整備や一部事業実施が進められていますが、田川市内では工事着手までには至っていません。

1日でも早く道路が完成し、利便性が向上するためには、県と市の連携が不可欠です。引き続き、その連携が加速するよう、私も県土整備事務所や市役所との橋渡し役としてがんばります。



県土整備部長へ田川市長と共に道路整備に向けた要望を行いました

## 過疎債田川市31億6千万円内示 県議会過疎議連の要望実る

2021年度の過疎対策事業債の内示額がこのほど明らかになりました。本年度は特に中学校建設にかかる事業があつたため、30億円を超える要求を行い、全額認められました。全額が認められ、市財政にも大いに貢献できたと思います。

田川市は自主財源が少ないため、国や県の支援は欠かせません。その中でも過疎債は極めて重要で、県議会でも過疎地域に指定された市町村選出の県議会議員で構成する「過疎地域活性化対策福岡県議員連盟」が、毎年中央省庁へ陳情を行っています。

過疎債だけでなく県補助金も含め、様々な補助メニューが存在します。市役所が行おうとしている事業にしっかりと補助メニューがつながるためにも、県議会議員としてその橋渡しをこれまで行ってきました。引き続き、田川地域への予算獲得へしっかりと取り組みます。

### ※過疎債とは

人口減少や財政力の厳しい市町村に対して、格差是正や内発的発展に資するため、計画に基づきハード・ソフト両事業を行うための必要な経費について、おおむね7割を国が補助（基準財政需要額に算入）する仕組みです。

### 2021年度 田川市過疎対策事業債 事業一覧

	事業名	要望額	内示額
ハード	浄化槽による汚水処理推進事業	1億2,830万円	
	新中学校建設事業	23億4,880万円	
	消防施設設備整備事業	1,160万円	
	塵芥車購入事業	7,740万円	
	平成筑豊鉄道支援事業（施設整備分）	1,170万円	
	コミュニティバス車両購入事業	2,630万円	
	公園施設長寿命化対策事業	1,370万円	
	轟地区排水路整備事業	1,920万円	
	青葉中央通り線道路改良事業	8,780万円	
	金川小学校3号線道路改良事業	7,770万円	
	桐ヶ丘4号線改良事業	1億2,300万円	
	医療機器購入事業	7,950万円	
	診療施設整備事業	7,350万円	30億7,850万円
ソフト	子ども医療費助成事業	6,830万円	
	地域活動活性化支援事業	2,000万円	8,830万円
	合計		31億6,680万円

# 福岡県最低賃金870円に 10年間で169円アップ

最低賃金が全国一律に28円値上げ、全国加重平均額で930円になります。そして、福岡県の最低賃金が842円から870円になります。

しかし、日本の最低賃金は1,041円(東京都)から最低の820円(高知県・沖縄県)と221円も差があり、これを法定労働時間(月177.1時間)で計算すると実に39,139円も差が生じます。

また、福岡県の最低賃金内で法定労働時間働いても、月15万4,077円と、実態は厳しいと言えます。

また、最低賃金は急激な増加をしているものの、月給制職員の給与の増加は、追いついておらず、最低賃金との差も縮まっている、と言われています。最低賃金の増加が月給制職員の給与増にも連動できる仕組みも必要だと思います。

引き続き、最低賃金のアップはもとより、中小企業支援も含めしっかり取り組んでいきます。

**時給  
870円の  
場合**

[法定労働時間] 177.1時間 870円 × 177.1時間 = **154,077円**  
154,077円 × 12ヶ月 = **1,848,924円**

## 政務活動報告

8.18 パラリンピック  
キャンプ地見学



ドイツとペラルーシの車いすフェンシングのキャンプ地として田川市が選ばれ、最終の調整を行っている様子を見学しました。残念ながらメダルには至りませんでしたが熱戦を繰り広げました。

10.9 生姜畑にて



今年は、熊本県の生姜農家に情報を聞いたり、インターネットで勉強したりしながら栽培。農家の奥の深さを感じています。色々な加工品作りにチャレンジしたいと思います。

## 佐々木まことプロフィール

1981年 田川市猪位金生まれ  
1997年 田川市立猪位金中学校 卒業  
2000年 福岡県立東鷹高校卒業  
2004年 龍谷大学法学部政治学科 卒業  
2006年 北九州市立大学大学院法学研究科修了  
2007年 田川市議会議員初当選(全国最年少)  
2011年 田川市議会議員2期目当選  
2015年 福岡県議会議員初当選  
2019年 福岡県議会議員2期目当選

役職

- 民主県政クラブ県議団副幹事長・  
政策審議会事務局長
- 國際化・多文化共生社会調査特別委員会 委員長
- 建築都市常任委員会 委員
- 福岡県福祉のまちづくり協議会 委員
- 森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 監事
- 田川広域観光協会 理事
- 社会福祉法人猪位金福祉会法人部 顧問

佐々木まこと事務所 田川市伊田4510-6 tel 0947-85-9015/fax 0947-85-9007

## 7月活動報告

- 1 終日地元市民相談対応
- 4 後援会役員宅棟上げ
- 5 県議会会派政策審議会企画会議(福岡市) / 県管理河川・猪位金川水辺委員会
- 8 終日地元市民相談対応
- 9 終日地元市民相談対応
- 10 福岡県高等学校教職員組合田川支部総会
- 12 県議会会派政策審議会企画会議(福岡市) / 原水禁県要請行動(福岡市)
- 13 県議会建築都市常任委員会(福岡市) / 後援会「まこと通信」発送作業
- 14 終日地元市民相談対応
- 17 日本地方政治学会
- 19 子ども育成会廃品回収 / 田川市役所との協議
- 21 福岡県茶葉青年の会による「八女茶」のPR・販売会(福岡市)国際化・多文化共生社会調査特別委員会(福岡市)
- 26 県議会会派政策審議会企画会議(福岡市) / 県議会国際化・多文化共生社会調査特別委員会(福岡市)
- 27 主要地方道八女香春線国道昇格促進期成会通常総会
- 28 終日地元活動
- 29 原水禁平和行進 田川地区平和集会 / 福岡和文化プロムナード世界太鼓フェスティバル(福岡市)
- 30 県議会会派政策審議会企画会議(福岡市) / 県議会国際化・多文化共生社会調査特別委員会(福岡市)

## 8月活動報告

- 2 県議会県土整備委員会管内視察同行
- 3 香春町町長選挙応援 / 県議会建築都市常任委員会(福岡市)
- 5 終日地元活動
- 6 県議会会派政策審議会企画会議(福岡市)
- 8 リモート結婚式参加
- 10 第17回全国地方議員交流研修会(zoom)
- 11-14 初盆参り
- 17 県議会会派政策審議会企画会議(福岡市)
- 18 パラリンピックキャンプ地見学
- 19 田川市キャリアパスポートの会研修会
- 20 県議会国際化・多文化共生社会調査特別委員会 正副委員長勉強会(福岡市)
- 23 県議会会派政策審議会企画会議(福岡市)
- 26 県議会国際化・多文化共生社会調査特別委員会(福岡市)
- 27 地公労情宣担当者会議(福岡市)
- 30 県議会会派政策審議会企画会議(福岡市)

## 9月活動報告

- 2 終日地元活動
- 3 県議会会派政策審議会企画会議(福岡市)
- 5 終日代表質問作成作業
- 6-8 県議会会派政策審議会に関する協議(福岡市)
- 10 県議会本会議(福岡市)
- 11 日本総研リモート講演会
- 12 福岡県建設労働組合筑豊支部定期大会(飯塚市)
- 13-15 終日県議会政務活動(福岡市)
- 16 県議会本会議(福岡市)
- 17 県議会本会議(福岡市)
- 21 県議会本会議(福岡市)
- 22 県議会本会議(福岡市)
- 23 終日県議会政務活動(福岡市)
- 24 県議会本会議(福岡市)
- 27 県議会建築都市委員会(福岡市)
- 28 終日県議会政務活動(福岡市)
- 29 終日県議会政務活動(福岡市)
- 30 県議会本会議(福岡市)

8.25 リモート会議



新型コロナウイルス感染症の拡大で、多くの会議がリモートでの会議となりました。肌感覚では分からぬ点もあり苦労しましたが、新しい会議の形態として行政や議会でも広がっていってほしいと思っています。

10.23 総合スポーツセンター  
周辺法面除草作業



毎年行われているボランティアの除草作業に参加しました。一帯はモミジの植樹が行われており、年々大きな木に成長しています。木にからんだツタの処理などを手伝いました。

## 10月活動報告

- 1 県議会決算特別委員会(福岡市)
- 2 令和3年度安全・安心まちづくり県民の集会(オンライン)
- 4 県議会決算特別委員会(福岡市)
- 5 県議会決算特別委員会(福岡市) / 十中副議長就任祝賀会(福岡市)
- 6 県議会決算特別委員会(福岡市)
- 7 県議会決算特別委員会(福岡市) / 県議会会派政策審議会企画会議(福岡市)
- 8 県議会決算特別委員会(福岡市) / 九州国立博物館内覧会(太宰府市)
- 9 自治体学会大会
- 11 県議会決算特別委員会(福岡市)
- 12 県議会決算特別委員会(福岡市) / 秋田議長就任祝賀会(福岡市)
- 13 國際化・多文化共生社会調査特別委員会正副委員長勉強会(福岡市)
- 14 県議会本会議(福岡市) / 県議会会派政策審議会企画会議(福岡市)
- 15 東京陳情(東京都)
- 18 終日地元市民相談対応
- 19 衆院選応援行動
- 20 主要地方道八女香春線国道昇格促進期成会(福岡市)
- 21 10.21国際反戦デー田川地区集会
- 23 田川中央総合スポーツセンター周辺法面除草作業
- 24 伊丹商店街・小さなマルシェ
- 25 県議会会派政策審議会企画会議(福岡市)
- 26-30 衆院選応援行動